

# 南会津「自立と共生」推進プラン2025

## 「学校の在り方変革」による教員・学校の力の最大化

10月から12月にかけて、「学力向上支援訪問」を実施しました。突然の訪問にもかかわらず、お時間を設けていただきありがとうございました。

どの学校でも、全国学調・ふくしま学調・NRT・QUテストなどの調査結果を分析し、それを職員会議や校内研修等で共有し、授業改善につなげていることが伝わってきました。小規模校の多い南会津では、ほとんどの学校で、個人に焦点を当てた分析が進められていました。

また、分析結果をもとに、現職教育等をプロジェクトチームとして、組織的に「学力向上マネジメントシート」を作成している学校が多く見られました。拝見したマネジメントシートの「打ち手」の一部を紹介します。

- 基盤となる学級づくりの重視
- **資質・能力の育成**を目的とした授業づくり
- **下位も上位も伸ばせる**単元構想
- **教員個人ではなく学校としての**授業づくり
- **家庭学習の質と量の充実**

現状を詳細に理解している今年度の先生方によって作成されたマネジメントシートは、新年度の授業づくりの起点となる貴重な資料になりますので、効果的な活用をお願いします。

## 学びのセーフティーネットと個性を伸ばす教育による多様性を力に変える土壌の確立

11月5日(水)、第3回地域支援チーム戦略・連携会議を「**個別の教育支援計画の活用**」をテーマに開催しました。今回は、域内の保育所や幼稚園、児童館等の職員を対象とし、子供の捉えや小学校への引継ぎ等について情報共有や協議を行いました。実践紹介として、只見町ぶなのもりこども園の増田園長から「特性のある子供への関わりや支援」について講話もいただきました。参加された方からは「講話の内容がとても参考になった。明日からの子供との関わりに生かしていきたい。」等の感想が聞かれました。

また、会津地区の支援学校地域支援センターの先生方が中心となって作成した『**幼児期の「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作ろう**』の紹介がありました。会終了後には、データ様式を域内の保育所や幼稚園等、健康福祉(保健福祉)課、教育委員会へ送付し、共有を図りました。

**個別の教育支援計画が適切に引き継がれることで、子供たちの安心した学校生活に繋がります。**ぜひ、本人・保護者と確認のもと、適切な引継ぎをお願いします。



『幼児期の「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作ろう』様式



第3回地域支援チーム戦略・連携会議

## 「学びの変革」による資質・能力の確実な育成

今年度は、要請訪問Ⅰで域内11校81時間の授業を、要請訪問Ⅱで6校20時間の授業を参観しました。

ある学校のベテランの先生が、「ICTに慣れていないけど使用してみる」とおっしゃっていたように、今年度の要請訪問の授業では、多くの先生方がICTを活用していました。デジタル教科書や動画でイメージを膨らませるなど、子供の思考を促す一つの手立てとして活用されていました。また、音声やキーボードによる文字の入力、お互いの意見の書かれたスライドにコメントを書き合うなど、**ICTを活用することで学習活動が豊かになってきている**ことを感じました。子供たちの学習への**興味・関心を高め、分かりやすい授業や主体的で・対話的で深い学びの実現、個に応じた指導の充実**にむけて、**効果的にICTを活用していきましょう。**



グループでの学び合い(南会津中)

「福島県版 ICT ハンドブック 2022」はこちらから ⇒



## 南会津が目指す教育の基本理念

# 自立と共生

## ～『南会津』がつむぐ南会津ならではの教育～



第7次福島県総合教育計画(学びの変革推進プラン)の6つの施策に基づき、南会津が目指す教育の基本理念や、域内の強み・課題を踏まえ、事業を実施してきました。

## 福島で学び、福島に誇りを持つ「福島を生きる」教育の推進

11月13日(木)、地域学校協働南会津地区研修会を行いました。放課後事業の実践発表やプログラムを考える演習など、放課後子ども教室関係者向けの内容でしたが、参加された小・中・高の先生方からは、放課後子ども教室の充実に向けてたくさんの貴重なご意見をいただきました。

また、今年度、各放課後子ども教室を訪問してきて印象的だったのが、放課後子ども教室に顔を出し、子供たちと一緒に体験活動を楽しむ先生方の姿です。多忙な先生方にとって放課後は貴重な時間です。しかし、**学校外での子供の様子を把握できたり、地域の方や保護者と情報交換ができたりと、放課後子ども教室と連携することは、学校や先生方にとっても、放課後子ども教室にとっても多くの利点があります。**

子供たちの充実した教育活動につながるよう、今後も放課後事業へのご理解とご協力をお願いします。



あさひだっ子クラブ「茶道体験」

「南会津教育事務所 事業推進の重点」は  
こちらから ⇒



「広報 南会」の  
バックナンバーは  
こちらから ⇒



## 安心して学べる環境整備

南会津版「自ら学ぶ子供の育成」リーフレットの補足資料6では、「生徒指導の実践上の視点」を生かした授業づくりの重要性を示しています。

### 【生徒指導の実践上の視点】

- 自己決定の場の提供
- 自己存在感の感受
- 共感的な人間関係の育成
- 安全・安心な風土の醸成



学級・授業づくりセミナー

**子供が安心して学べる環境整備のためには、学級づくり・授業づくりが基盤となります。**8月に行われた学級・授業づくりセミナーにおいて、南会津町立田島小学校の松本和也教諭の授業動画を基に、教師の言葉がけがどのように子供たちの心に響き、学級づくりへとつながっていくのかについて、考え合いました。動画の中では、問題提示の段階から、学級の子供全員が学びを自分事として捉え、**どの方法で解決できるかを自分で決定**することが大切であることや、自力解決後の話し合いにおいても、相手の考えのよさに気付き、**自分とは違う考えを認め、納得する姿**を引き出していく教師のかかわりが大切であることが確認されました。

子供たちが安心して授業に臨むためには「生徒指導の実践上の視点」を意識した取組が大切です。普段の授業においても、**子供一人一人の頑張っている過程を認め、称賛**することで、自信につなげることができるようにしていきましょう。

## 人生100年時代を見通した多様な学びの場の確立

10月7日(火)、伊南小学校で行われた昔語りを訪問しました。

伊南小学校では以前から、**伝承に触れることで地域を知り、地域愛を育てる**ことを目的に、地域の昔語りに携わっている方をお招きして昔の話を教えていただいているそうです。当日は、地域で精力的に昔語りをされている平野高子さん、平野登子さんのお二人に、地域に伝わる昔の話を語っていただきました。

12月26日(金)、只見町冬休み子どもクラブにおける只見高校生による読み聞かせの様子取材しました。只見高校では、**図書委員会を中心となってボランティアを募り、町内の子供たちに読み聞かせ**を行っているそうです。高校生にとっては将来のことを考える機会に、小学生にとっては地域の先輩と関わる機会にと、高校生と小学生の関係の構築になっている取組でした。

この2つの取組を見てみると、文化の伝承を現在実践している方とそれを担ってくれる可能性のある若い方の活動ですが、これらの活動をつなげる機会を設けることが、今後の課題になってくると思います。

今後も様々な情報を発信しながら、皆さんの活動の支援も行っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。



只見町冬休み子どもクラブ  
只見高校生による読み聞かせ